



三菱ハウジングエアコン 別売 背面パネル
 形名 MAC-316HP

据付工事説明書 販売店・工事店さま用

用語集

品名	形名	呼称
置台	MAC-311TD	置台
床置用ドレンアップメカ	MAC-862DM	ドレンアップメカ

- この背面パネルは床置形機種MFZ-K/HKシリーズ専用部品です。
- 本製品はクリーンヒータ等の給排気用の壁穴を再利用して据付ける際に、配管およびドレンホースを隠し、壁と室内機との間に生じる隙間を塞ぐための部品です。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事前にこの据付工事説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。

据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。ケガの原因になることがあります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



注意

(誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの)

■切断部のエッジはヤスリ等で処理する。切断部のエッジによるケガの原因になります。



使用部品

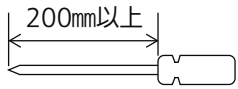
※背面パネル(上面用①、右側面用②、左側面用③)裏側の見えないところに塗装ムラがある場合がありますが、品質上問題ありません。

部品	① 背面パネル (上面用) 	② 背面パネル (右側面用) 	③ 背面パネル (左側面用) 	④ 背面パネル組立用ネジ タッピングネジ (黒) 4×10
個数	1	1	1	4
部品	⑤ 室内機固定用ネジ タッピングネジ4×16	⑥ 置台固定用ネジ ※ タッピングネジ4×10	⑦ 背面パネル固定用ネジ タッピングネジ4×25	⑧ 仕上用シール
個数	4	4	4	2

※ 置台固定用ネジ⑥は、置台(別売部品)併用時に使用します。

使用工具

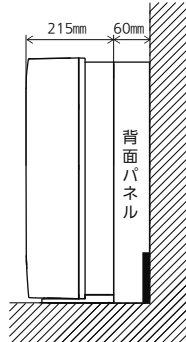
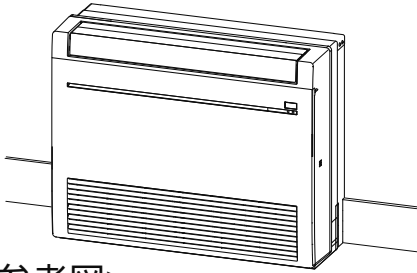
- a) 軸の長さ200mm以上の
プラスチックドライバー
b) ニッパー
c) ヤスリ



<完成図>

背面パネルのみを使用する場合

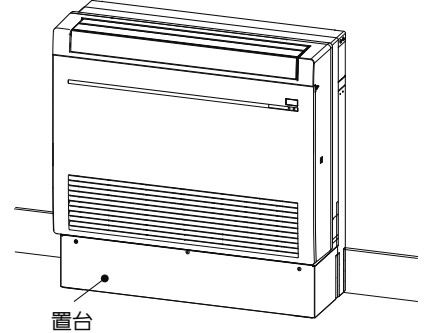
(巾木がある場合)



完成時の寸法

背面パネルと置台を併用する場合

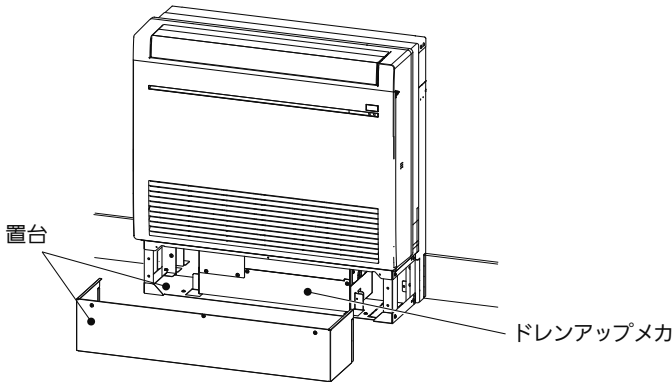
(巾木がある場合)



<参考図>

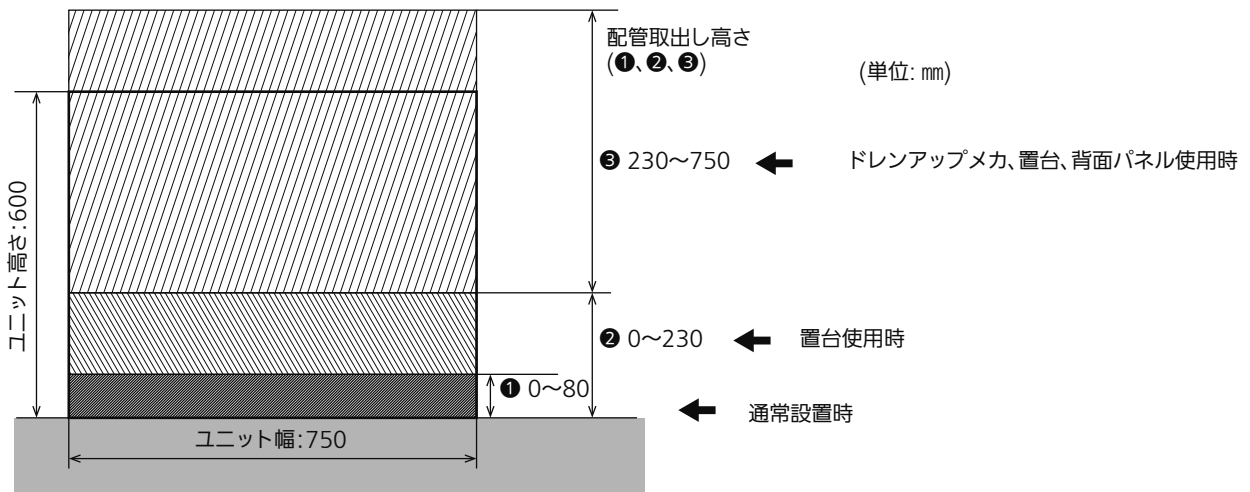
背面パネルと置台、ドレンアップメカを併用する場合

(巾木がある場合)



配管取出し可能範囲

- クリーンヒータからの置換え等により既設の壁穴を利用する場合は、ドレン水が確実に排水される条件に適合するかを確認してください。
適合しない場合は、ドレン配管穴を別にあけるか、もしくは置台やドレンアップメカを使用してください。
- 既設の壁穴を使用しない場合、市販の壁穴塞ぎ部材等で塞いでください。
- 室内機のドレン配管工事終了後、水を流して確実に排水されることを確認してください。



- 上図は配管取出しの可能な範囲です。(上図は室内機を正面から見た図です) 取出し高さに応じて使用する別売部品が変わります。

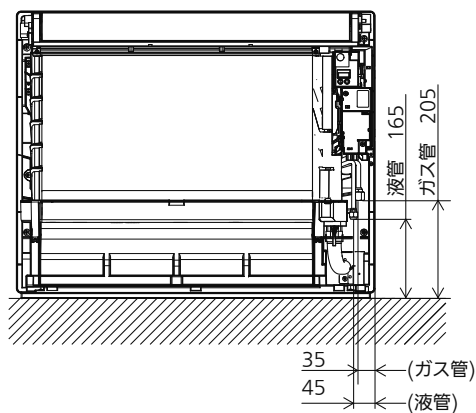


注意

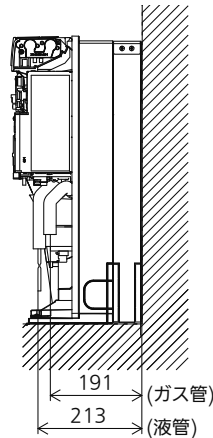
切断部のエッジはヤスリ等で処理してください。
エッジによるケガの原因になります。

接続配管の位置

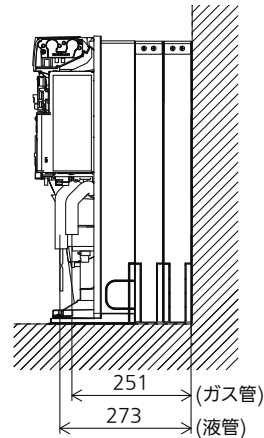
背面パネルのみを使用する場合



<背面パネル1台使用时>

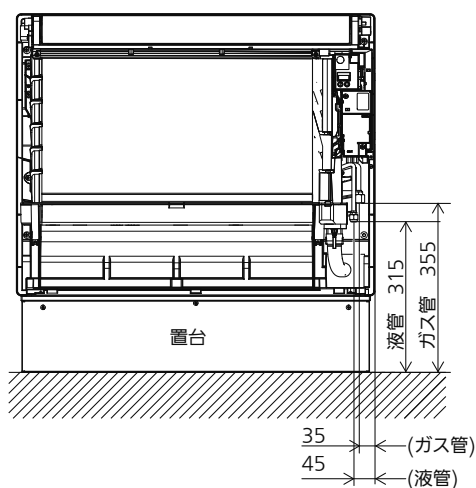


<背面パネル2台使用时>

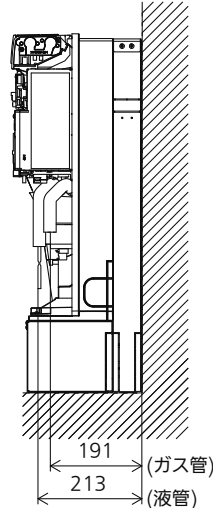


(単位: mm)

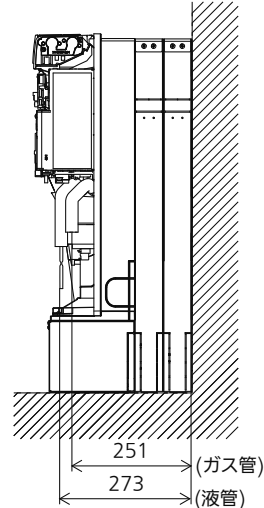
背面パネルと置台を併用する場合



<背面パネル1台使用时>



<背面パネル2台使用时>



(単位: mm)

1 事前準備

1. 背面パネルの組み立て

背面パネルのみを使用する場合

※据付場所に巾木がある場合は、後述の「巾木がある場合」を参照してください。

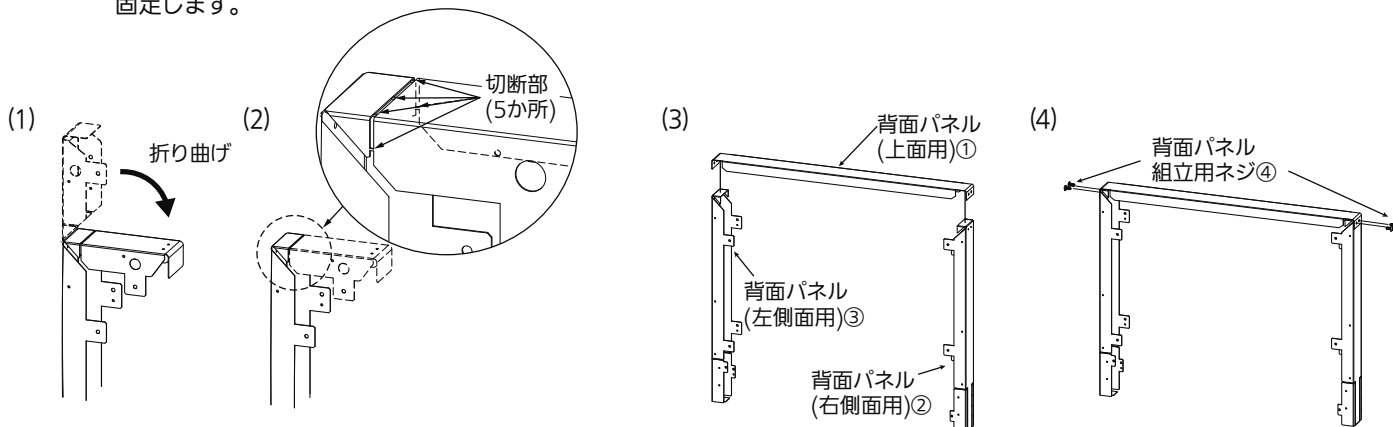
(1) 背面パネル(右側面用)②と背面パネル(左側面用)③を切り込み部から90°折り曲げます。

(2) それぞれの切断部5か所をニッパー等を使用して切断します。

※作業(2)の切断作業は、折り曲げ後に実施してください。切断後に折り曲げると、切り込み部を支点に曲げることができません。

(3) 背面パネル(右側面用)②と背面パネル(左側面用)③に背面パネル(上面用)①を下図のように上からのせます。

(4) 背面パネル(上面用)①と背面パネル(右側面用)②、背面パネル(左側面用)③を背面パネル組立用ネジ④で4か所固定します。



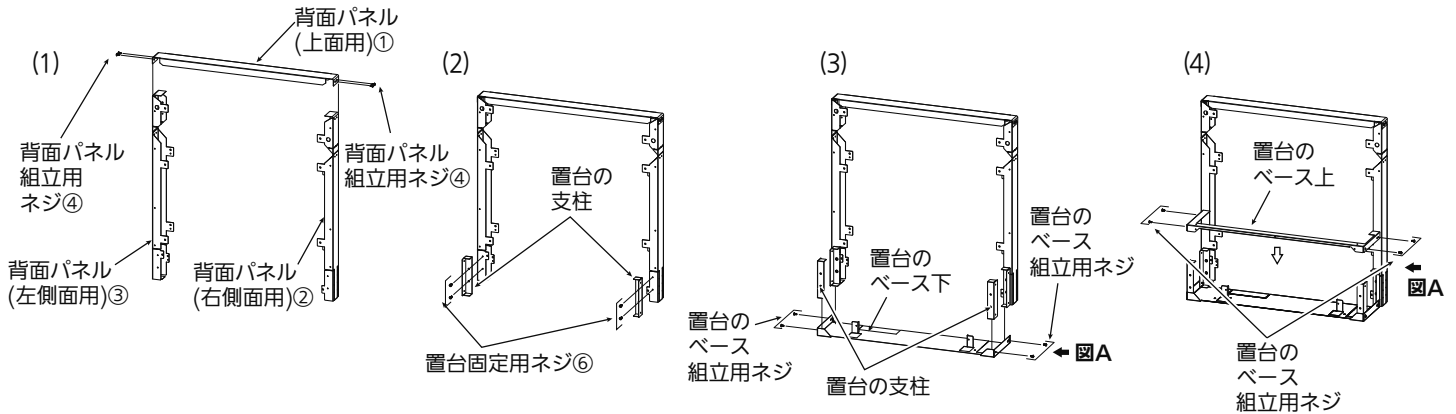
背面パネルと置台を併用する場合

※据付場所に巾木がある場合は、後述の「巾木がある場合」を参照してください。

- (1) 背面パネル(右側面用)②と背面パネル(左側面用)③に背面パネル(上面用)①を下図のように上からのせて、背面パネル組立用ネジ④で4か所固定します。
- (2) 背面パネル(右側面用)②と背面パネル(左側面用)③に置台の支柱(置台の付属部品)2つを置台固定用ネジ⑥で4か所固定します。

※作業(2)からは、置台の据付工事説明書も参照してください。

- (3) 上記(2)と置台の支柱2つ、置台のベース下を下図のように組立て、置台のベース組立用ネジ(置台の付属部品)で4か所固定します。
- (4) 上記(3)と置台のベース上を下図のように組立て、置台のベース組立用ネジ(置台の付属部品)で4か所固定します。



お願い 置台の奥側支柱を固定するベース組立用ネジは、↓のネジ穴を使用してください。

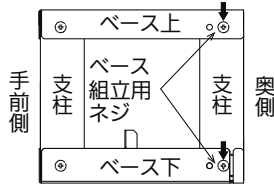
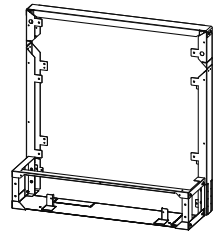


図 A(ネジ固定位置)

<完成図>



背面パネルを2組使用する場合 (背面の配管取り回しスペースが広くなります)

※据付場所に巾木がある場合は、後述の「巾木がある場合」を参照してください。

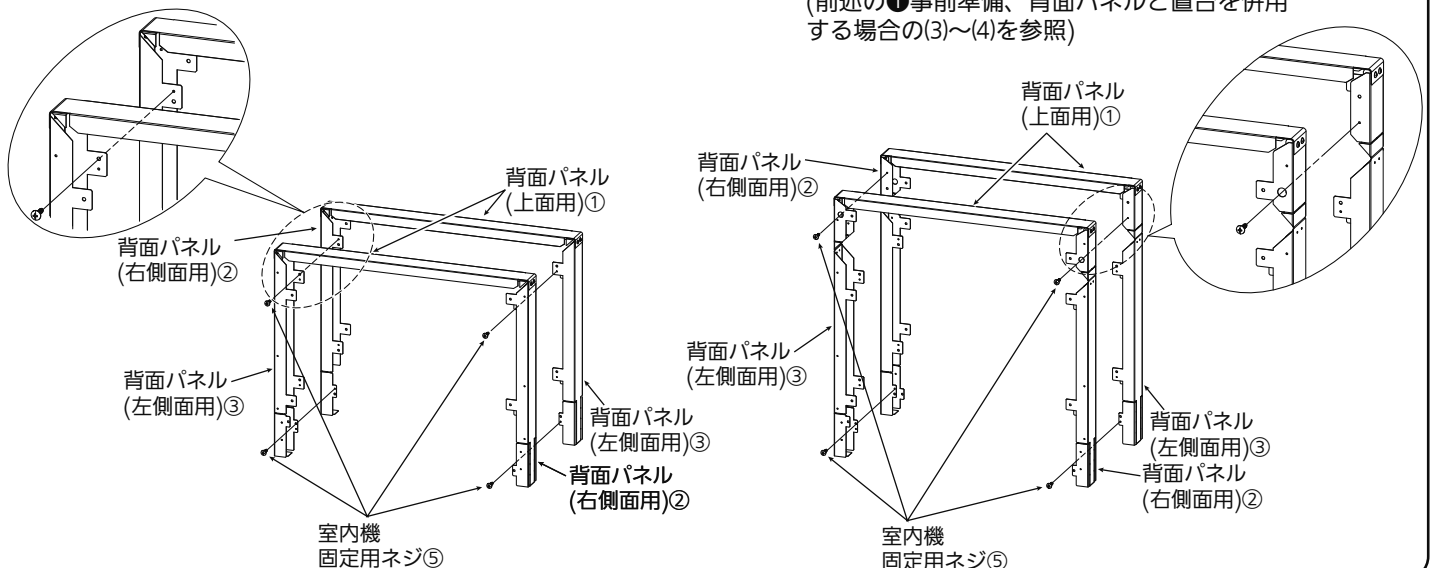
※背面パネル(右側面用)②同士、または背面パネル(左側面用)③同士は固定できません。

背面パネルのみ使用する場合

- (1) 背面パネルを2組、組み立てます。(前述の①事前準備、背面パネルのみを使用する場合を参照)
- (2) 突起に穴が二つある側の面同士を合わせて室内機固定用ネジ⑤で下図の位置に4か所固定します。

背面パネルと置台を併用する場合

- (1) 背面パネルを2組、組み立てます。(前述の①事前準備、背面パネルと置台を併用する場合の作業(1)と(2)を参照)
- (2) 突起に穴が二つある側の面同士を合わせて室内機固定用ネジ⑤で下図の位置に4か所固定します。
- (3) 置台のベースを取付けます。(前述の①事前準備、背面パネルと置台を併用する場合の(3)~(4)を参照)





注意

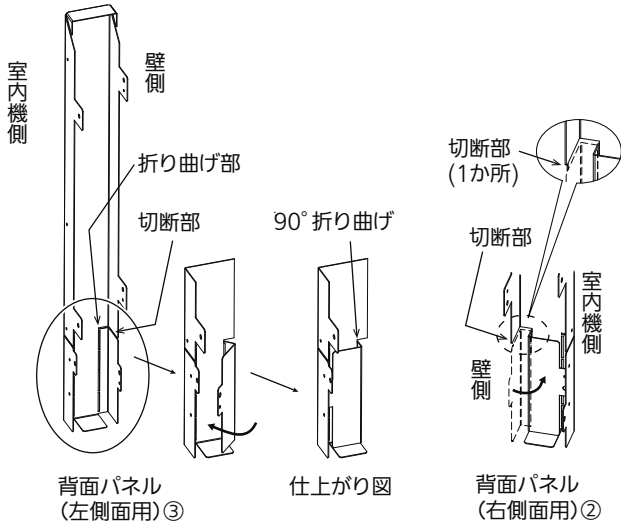
切断部のエッジはヤスリ等で処理してください。
エッジによるケガの原因になります。

巾木がある場合

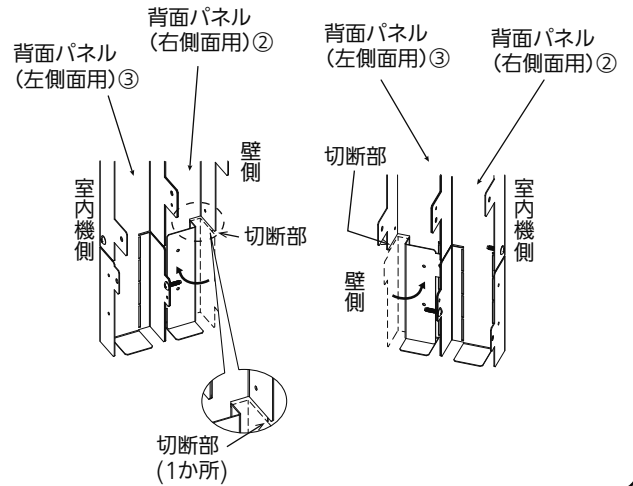
(巾木を避けて据付けることができます)

- (1) 背面パネル(右側面用)②と背面パネル(左側面用)③の下部にある壁側のそれぞれの切断部1か所をニッパー等で切断し、折り曲げ部を支点に90° 折り曲げます。

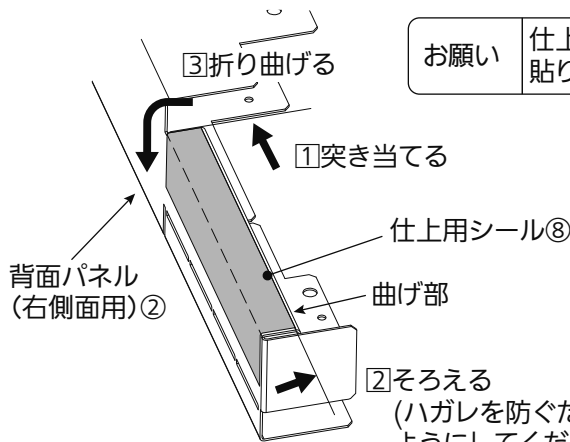
背面パネルを1組使用する場合



背面パネルを2組使用する場合



- (2) 背面パネル(右側面用)②と背面パネル(左側面用)③の折り曲げ部に仕上用シール⑧を下図のように貼ります。



お願い

仕上用シール⑧がしわにならないように貼り付けてください。

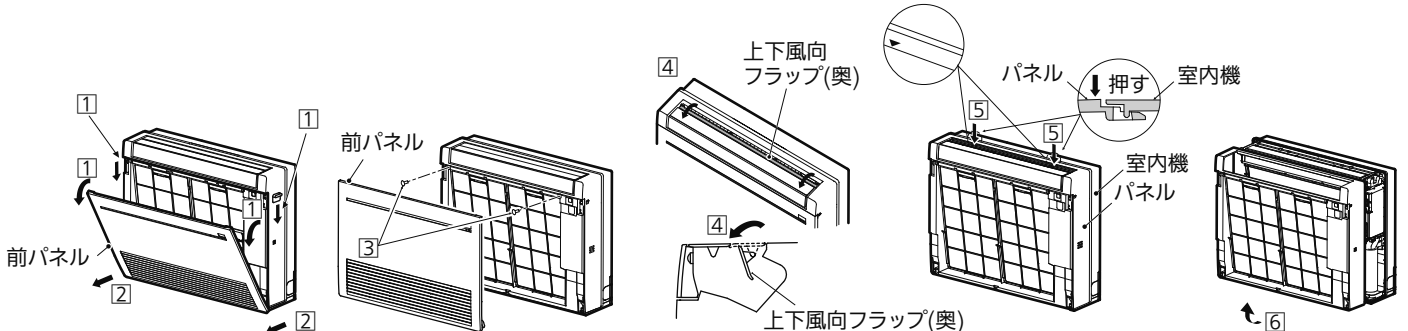
②そろえる
(ハガレを防ぐため曲げ部にかからないようにしてください)

2. 前パネル、パネルの取外し

室内機の前パネルとパネルを①～⑥の手順で取外します。

- ①パネル左右側面にあるツマミを下げながら前パネルを手前に開いてください。
- ②前パネルを外してください。
- ③2本のネジを取外してください。

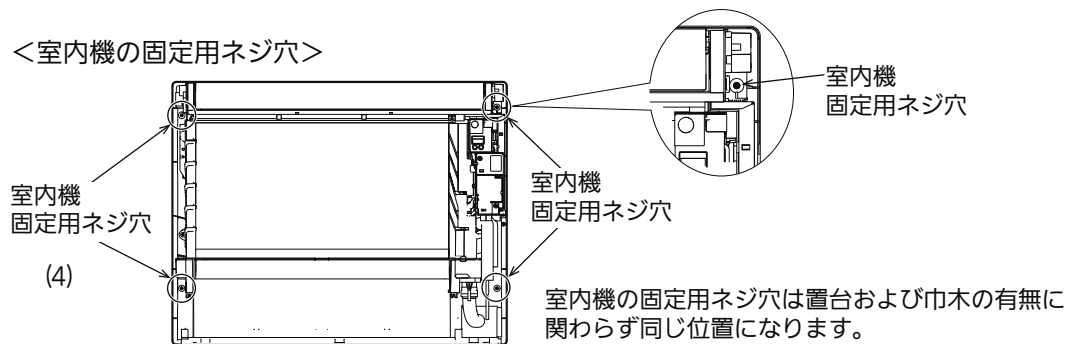
- ④上下風向フラップ(奥)を開いてください。
- ⑤パネルの上面2か所(▼マーク部分)を押し、パネルの上側を外して手前に引いてください。
- ⑥パネルを上を持ち上げながら、外してください。



2 背面パネルの固定

- 背面パネルを1組または2組使用した場合、巾木がある、巾木がない場合で、壁面へのネジ位置が異なりますので注意してください。
- 背面パネルを位置決めする際は、必ず室内機を仮止めした状態で行ってください。

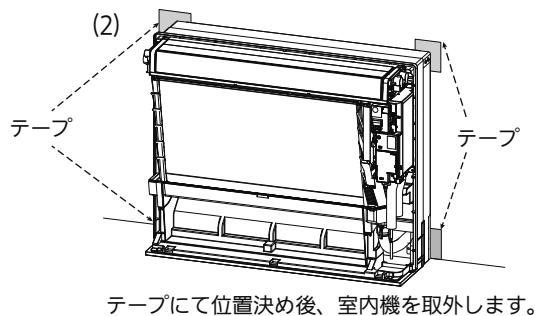
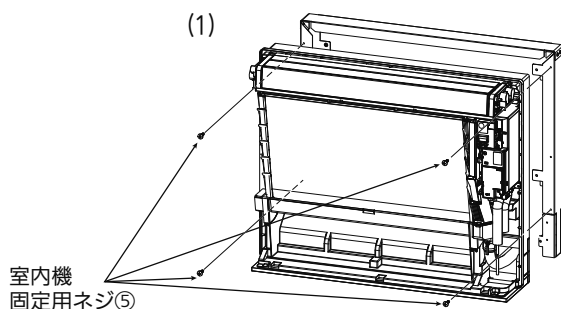
<室内機の固定用ネジ穴>



背面パネルのみを使用する場合

- (1) プラスドライバー（軸の長さ200mm以上）を使い、室内機に背面パネルを室内機固定用ネジ⑤で4か所仮固定します。
- (2) 室内機を背面パネルと仮固定した状態で据付場所に設置し、壁にテープ等で位置決めをします。

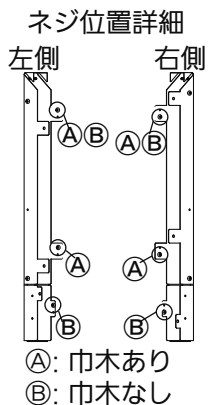
お願い 水準器等で、背面パネルが垂直・水平に設置されているか確認をしてください。



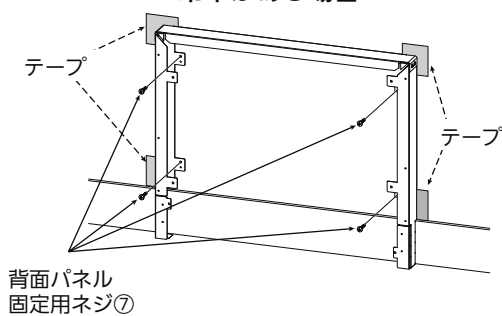
テープにて位置決め後、室内機を取外します。

- (3) 室内機を取外し、背面パネルを背面パネル固定用ネジ⑦で4か所、壁に固定します。

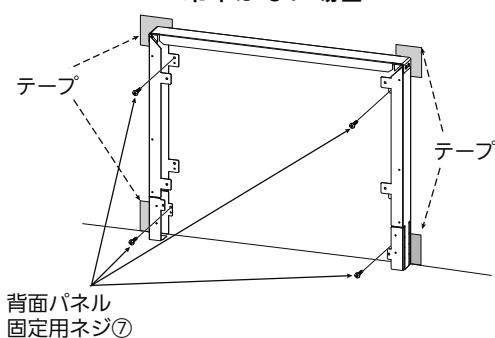
背面パネルのみを1組使用する場合のネジ位置



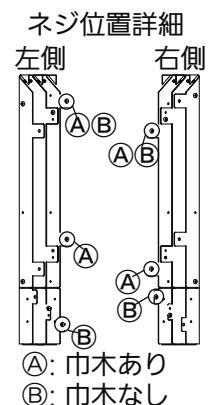
巾木がある場合



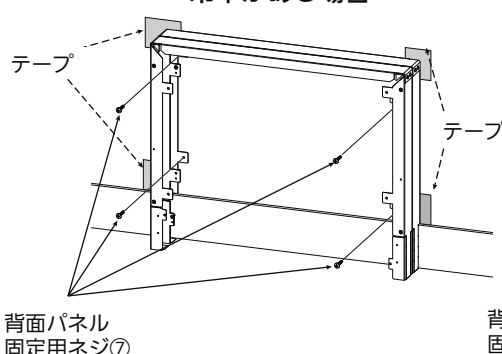
巾木がない場合



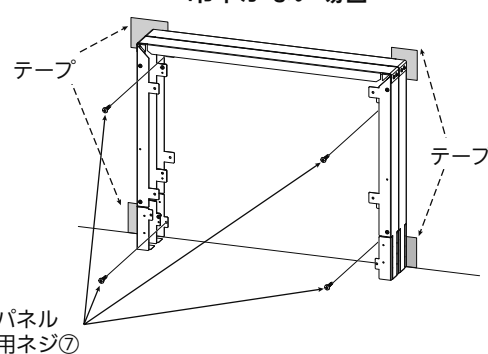
背面パネルのみを2組使用する場合のネジの位置



巾木がある場合

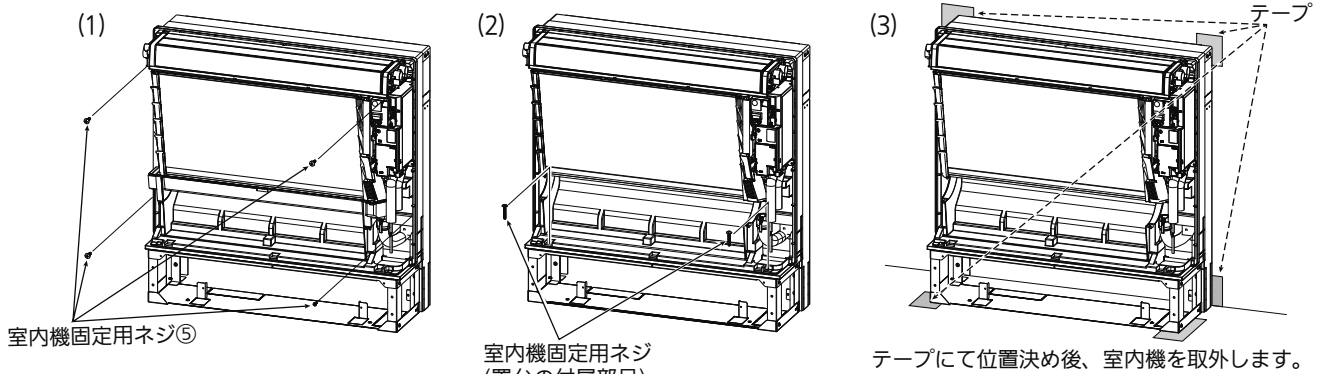


巾木がない場合



背面パネルと置台を併用する場合

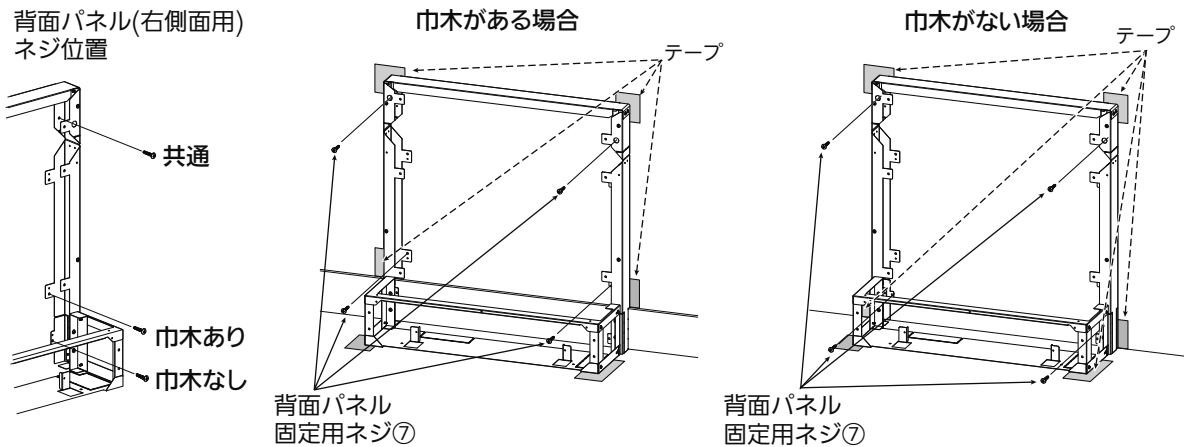
- (1) プラスドライバー(軸の長さ200mm以上)を使い、室内機に背面パネルを室内機固定用ネジ⑤で4か所仮固定します。
- (2) 室内機を置台の室内機固定用ネジ(置台の付属部品)で置台に仮固定します。
- (3) 室内機を背面パネルおよび置台と仮固定した状態で据付場所に設置し、壁と床にテープ等で位置決めをします。



- (4) 室内機を取外し、背面パネルを背面パネル固定用ネジ⑦で4か所、壁に固定します。

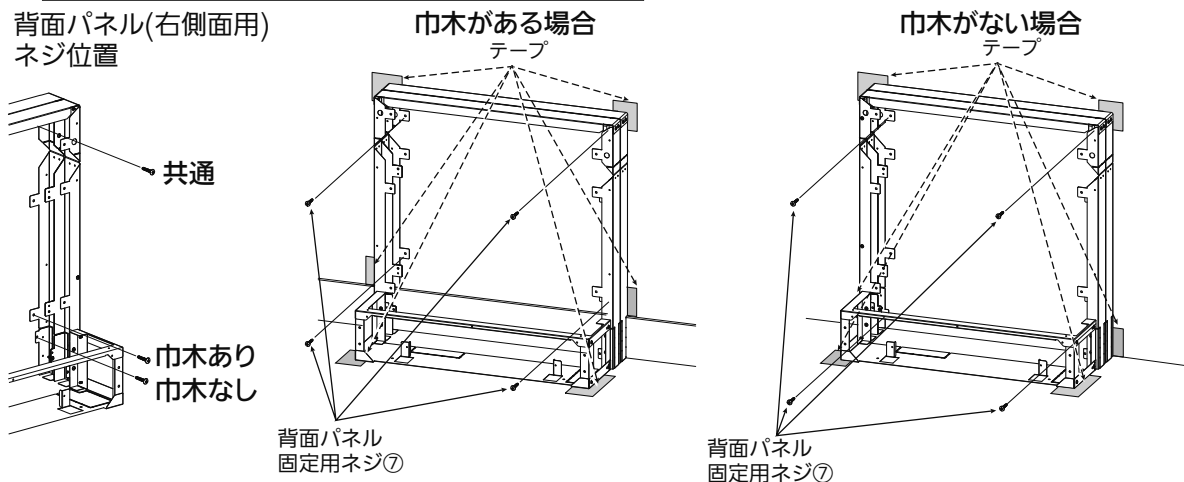
背面パネル1組と置台を併用する場合のネジ位置

背面パネル(右側面用)
ネジ位置

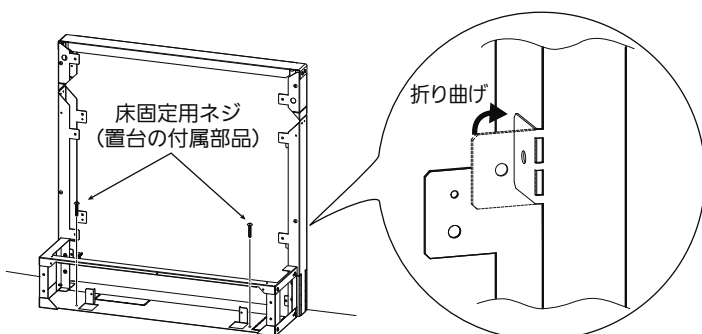


背面パネル2組と置台を併用する場合のネジ位置

背面パネル(右側面用)
ネジ位置



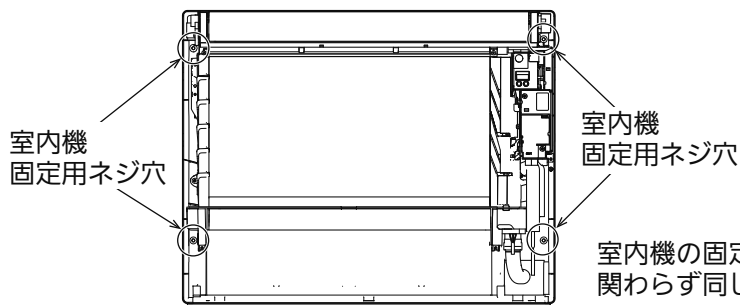
- (5) 置台を床固定用ネジ(置台の付属部品)で2か所を床に固定します。



※接続配管およびドレンホースの取り回しの際、背面パネル(右側面用)②の突起が邪魔になる場合は、突起の折り曲げ部を支点に90° 折り曲げてください。

3 室内機の固定

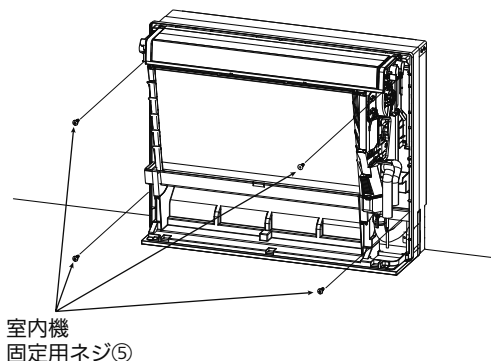
<室内機の固定用ネジ穴>



背面パネルのみを使用する場合

プラスドライバー(軸の長さ200mm以上)を使い、室内機に背面パネルを室内機固定用ネジ⑤で4か所固定します。

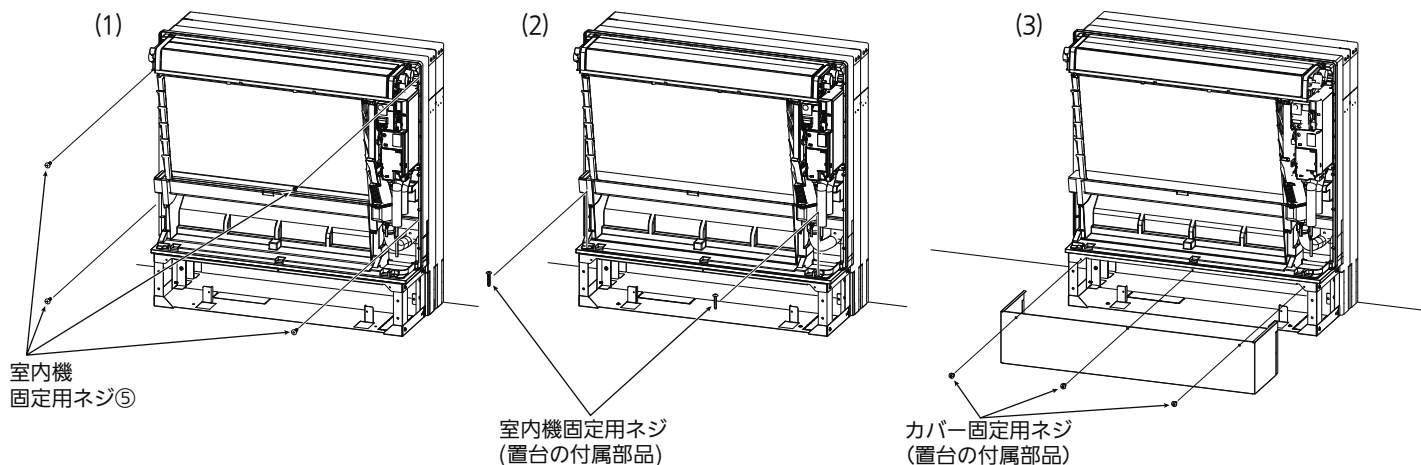
- 背面パネルを1組使用する場合、置台固定用ネジ⑥が4本余ります。
- 背面パネルを2組使用する場合、置台固定用ネジ⑥が8本余ります。



背面パネルと置台を併用する場合

- (1) プラスドライバー(軸の長さ200mm以上)を使い、室内機に背面パネルを室内機固定用ネジ⑤で4か所固定します。
- (2) 室内機を置台の室内機固定用ネジ(置台の付属部品)で2か所固定します。
※作業(2)からは、置台の据付工事説明書も参照してください。
- (3) 置台のカバーを置台のベース上に置台のカバー固定用ネジ(置台の付属部品)で3か所固定します。
※作業(3)では置台のカバーの左右にあるフックが奥側の支柱を挟むように奥側へ押してください。

- 背面パネルを2組使用した場合は、置台固定用ネジ⑥が4本余ります。



お願い

この後の据付作業などについては室内機の据付工事説明書に従い作業してください。